



風月菴系笈子
合會叙
東園會藏書目録
合本

全

1冊
600
47



特
門 1 曾 4
號 600
卷 47

風月菴主尔答子物矣

曲真馬琴

小子方子以久... 汝好口... 一... 一...

瀋陽文庫

論語

○和音

○くろく魚のうゑ

○あろ子喰る火桶

○次飯のせ序

○あま山のけり

○あまのうらら

己上



雪彦子云和がのりハ古人も志をく瑞おんるものと
 しく和音のりハ何人々定つるやいふに瑞とふた
 たりハ等日分直此方の音フンギキ人テ唐音フウシヂ
 墨日模類此方の音リ人テの唐音スウシイ頭日
 加是羅此方の音カシラ今テ唐音キヤアスウ牙あど
 なる音のたがるとかくのぞく漢字をて流るや何
 どの此音とよであつるや羅の字ウスモノとよむハ和利
 フとあハ和音したとウスモノと訓をつくるた何ハ唐
 音のやハ口方とあはしとフといやけけあいうあ
 馬琴テ考るよ紀平意神天皇の辰時百階あやう阿直
 和途とる二人の將士と流るや又流るを漢籍と
 貢献をこれ皇國漢籍のイキりしりまうし
 先より漢籍
 文字も

これ代々の朝の字を言とよまらひつゝ院と云はれたるは百
あの人を言ひけりし事あり候今も百部とよぶ部名郷名を言ふ又
備尼の徒、恙日雲、枕語と云ふ事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
枕語、朝祥言もいふ事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
けりし事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
さういふ事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
が、朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
いふ事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
雪、朝祥の子云、たれかの朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ

今、江月や、綱とあはれも、たゞの
け、朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
いふ事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
雪、朝祥の子云、たれかの朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ

その後、朝祥の四雅文の云、けりし七部、搜と、
東登がけ、朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
馬琴、朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ
か、朝祥の事あり候今も百部の人とおきかへりて云ふ

百川合會叙

曲阜馬琴哉稿

東園會話月錄

寬政十年八月廿五日

東園會話

卷之八

ノ

ノ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "東園會話" and "卷之八".

一 月書

十冊

一 市外遊

三冊

一 鳴鳳帖

卷

一 書子學生

卷

一 子書子

卷

一 書子書

卷

一 大なる子

子

一 つる子

子

一 かくのひ

子

一 つれづれ

子

一 之のひ

子

一 知る子

子

一 中なる子

子

一 師のひ

子

一 師の十所

子

一 師のひ

師のひ

子

一 師のひ

子

一 師のひ

師のひ

子

一 玉の澄

玉

一 蕉の口

蕉

一 魚の鱗

鱗

一 石の文

石

一 松の葉

松

一 雲の影

雲

一 花の露

花

一 月の手

月

一 雪の音

雪

一 柳の風

柳

一 水の色

水

一 鳥の鳴

鳥

一 冬の。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

一 積りの。

冬

四集

一割をばす

居

去

一不し成る

不

一丁増増

去

一丁出

極

去

一丁出

去

一丁出たん

去

一丁出

去

一丁出

去

一丁出

去

一丁出

去

一丁出

去

一丁出

去

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 碧梧亭記

記

一 机括文選

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 机括物多美

机

一 龍虎集 三

一 許子集 三

一 張古集 三

一 芳菊集 三

一 高川集 三

一 天石集 三

一 市の杖 三

一 笠見 三

一 のり集 三

一 葦舟集 三

一 子成文集 三

一 子成文集 三

一 增心井

美

一 秋香地

美

美

一 秋の月

美

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 秋の月

美

一 切厚乃乃口

夫

一 渺兮兮兮

夫

一 百人之平一

夫

一 微多化地

夫

一 夫平化

夫

一 及人之万

夫

一 西以也

夫

一 山本以

夫

一 重也

夫

一 一人之

夫

一 割均

夫

一 重也

夫

一 後水尾院御製 云

一 云成和云云 云

一 掃中法東如云 云

一 云云云云云 云

一 云云云云 云

一 翠白集 内一冊云々 三冊アリ 全巻四

一 後山集 云

一 云云云云 云

一 云云云云 云

一 云云云云 云

一 云云云云 云

一 云云云云 云

一 蜀山夜話

詠

一 美しき女

詠

一 好女尋

詠

一 方外三石

詠

一 多身法之解

詠

一 乃のまじ屋

詠

一 唐也田名在奥部之娘

詠

一 唐也走女

詠

一 乃やらやの園

乃りや
乃りや

詠

一 美しき女

美しき女
乃りや

詠

一 乃ら乃ら乃り

乃りや
乃りや

詠

一 白丸中六冊

白丸中六冊

一

古

十

新

九

山

七

子

六

瑞

五

一

四

一

三

一

二

一

一

一

一

一

一

一 尺四寸五分の板 寸

一 大板の板厚五分 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

か

一 又いふは板の厚 寸

一 又いふは板の厚 寸

のまきもあけ果ててはるかに

あけのこもふ 是七 なる 花

一 はし なる び る 花

× 花 花

はるかにあけ果ててはるかに

あけのこもふ はし なる び る 花

あけのこもふ はし なる び る 花

あけのこもふ

あけのこもふ

あけのこもふ

あけのこもふ

あけのこもふ

一也
 遠く
 右
 此
 紀
 後

奉
 考

定

八

後

山家

一山松竹

幾處

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

山色有无中

